

福島第一原子力発電所 4 号機における 原子炉ウェルおよび圧力容器、使用済燃料プール の内部調査について

平成25年 8 月 2 日
東京電力株式会社



東京電力

調査目的と内容について

4号機使用済燃料の取り出しに先立ち実施する使用済燃料プール等の内部にあるガレキ撤去に向け、原子炉ウェル内および原子炉圧力容器内、使用済燃料プール内について、前回調査を補完するため、以下の調査を行う。

【主な調査内容】

- ・原子炉ウェル内および原子炉圧力容器内のガレキ散乱状況・シュラウド取り替え工事関連機器の残置状況の確認。
- ・使用済燃料プール内のガレキ散乱状況の確認。
- ・炉内機器移動ルートの確認。

H24年3/15に 原子炉圧力容器底部のガレキ調査を実施。

H24年3/19～3/21に使用済燃料プール内のガレキ調査を実施。

< 調査スケジュール（予定） >

8/5～8/7：原子炉ウェル内調査 / 原子炉圧力容器内調査

8/8～8/9：使用済燃料プール内調査

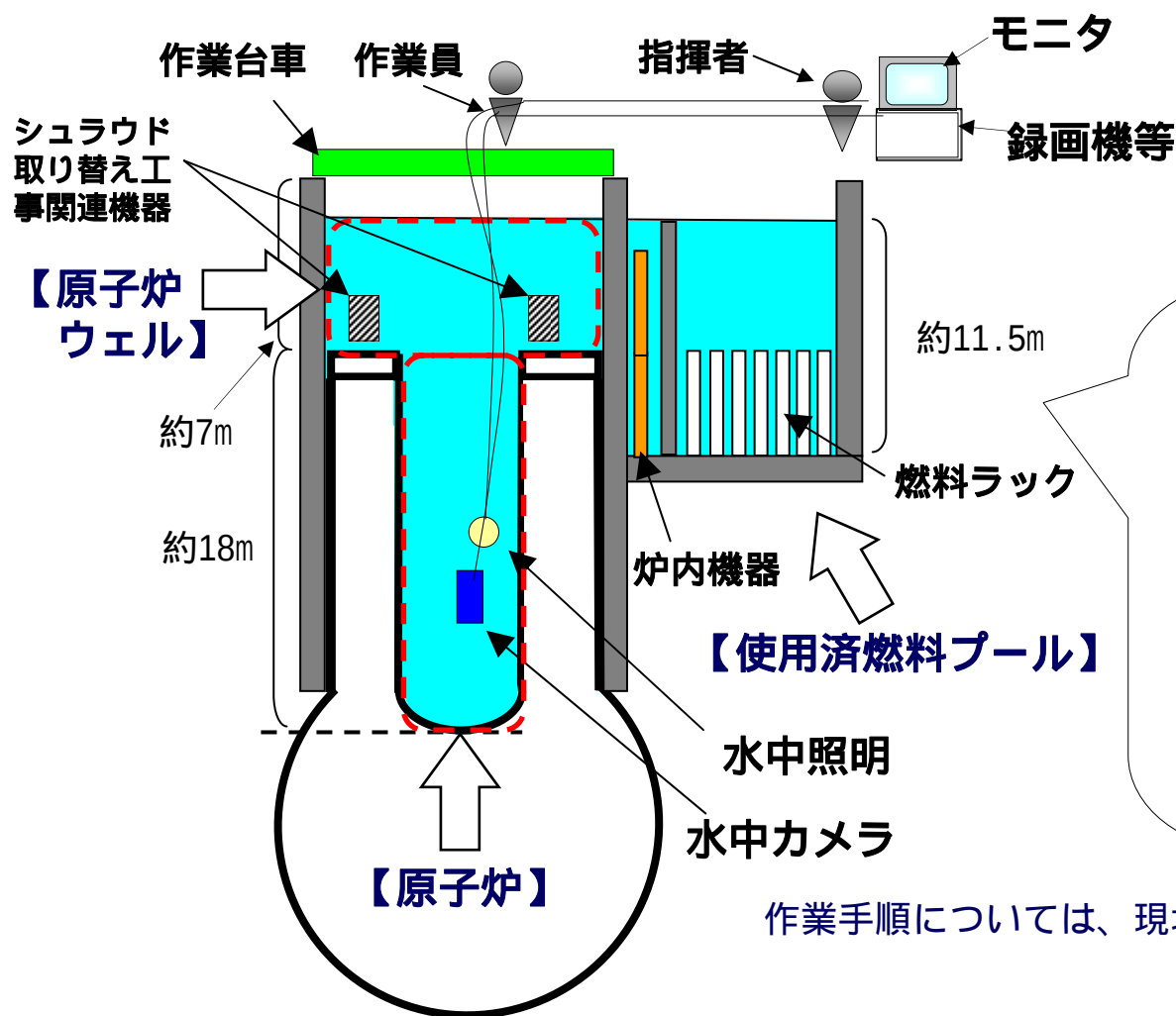
< 作業計画 >

- 作業体制 23人 / 日
- 計画線量 計画線量: 2.0mSv / 日 / 人

原子炉ウェル内および原子炉圧力容器内調査について

【作業目的】

- ・ 水浄化装置等の原子炉ウェル内への設置に向け、原子炉ウェル内のガレキ散乱状況および震災前から保管してあるシュラウド取り替え工事関連機器の状況を確認。
- ・ キャスクピット内に仮置きされている炉内機器*の原子炉圧力容器底部への移動に向け、原子炉内のガレキ散乱状況を確認。



<作業手順>

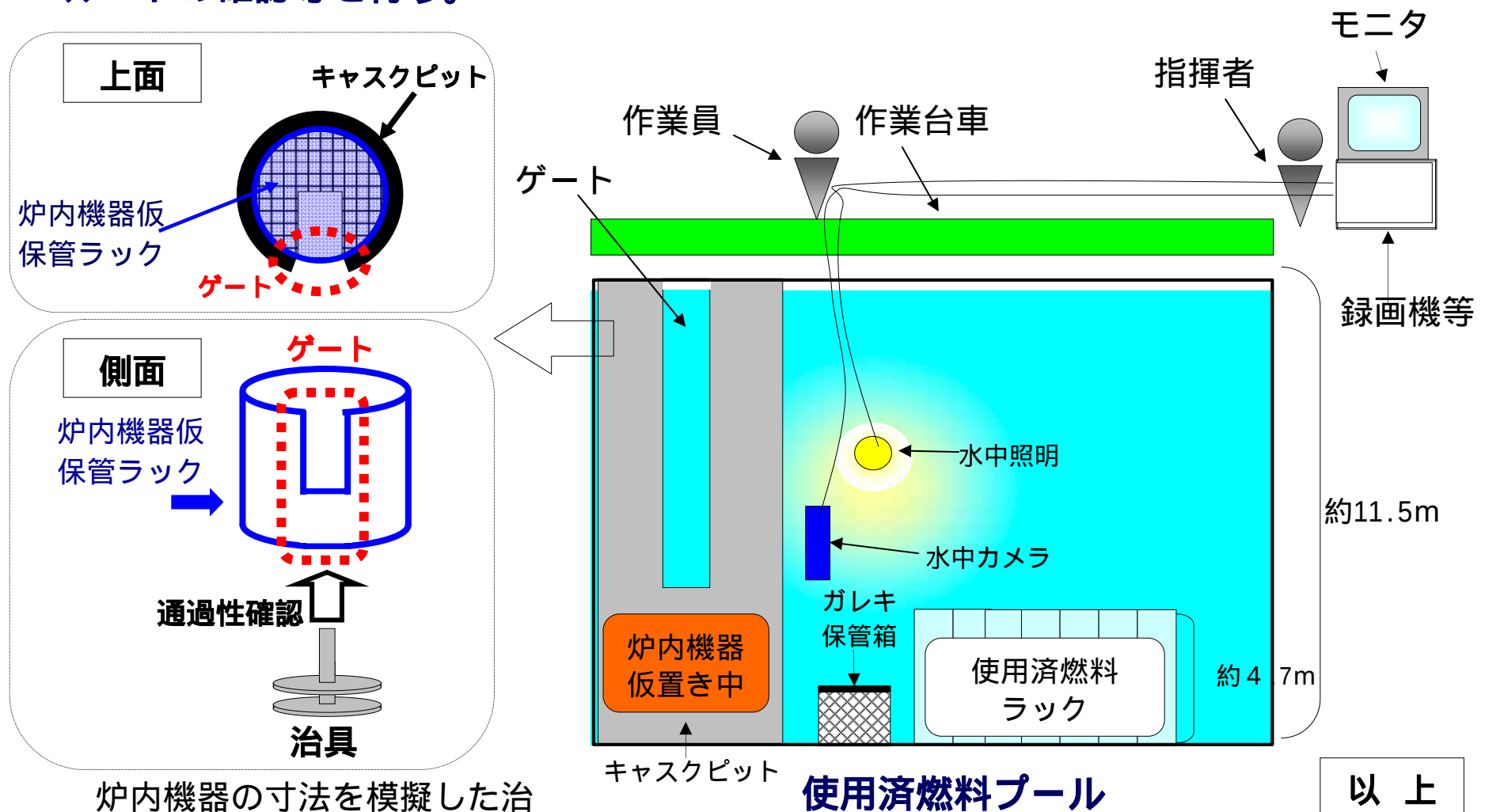
- ・ 原子炉ウェル上の作業台車から水中カメラを投入
- ・ 作業台車の上から水中カメラを照明と一緒に吊り下ろす。
- ・ 水中カメラの映像を確認しながら、視認可能な範囲で炉底部状況を調査。

作業手順については、現場状況に応じて変更することもあります。

使用済燃料プール内の調査について

【作業目的】

- ・ 回収したガレキを保管する保管箱の設置予定箇所のガレキ散乱状況を確認する。
- ・ キャスクピット内の炉内機器仮保管ラックからの炉内機器の移動に向け、移動ルートの確認等を行う。



炉内機器の寸法を模擬した治具を用いて通過性確認を行う